

【出席者】

社会教育委員：田代保廣委員、鈴木美香委員、中村吉哉委員、萩原淑恵委員、
西田正鋭委員

社会教育課：清水基之社会教育課長、杉山啓太郎社会教育係長

【会議の内容】

1 開会（事務局：杉山）

2 田代議長あいさつ

- ・過半数の5人の出席者ということで、健康、体調の具合や仕事もある中、お集りいただき、お礼申し上げます。
- ・11月6日の第5回の会議で、公民館の在り方の答申は概ねまとめたが、それ以降に事務局で編集し、皆様にお示ししてご了解をいただければ、これを更に答申書の形にしたいと考えている。
- ・日経ビジネスで気になる記事があった。例えば、両親に介護が必要になった場合、どこに相談に行くか。福祉課や地域包括支援センターなどが正解。日経ビジネスが調査したところ、介護経験のある40歳代のビジネスパーソンが地域包括支援センターを知らなかった人が70%。自分で介護を引き受けて、自己責任と考えてしまう。介護する団塊ジュニア世代は50歳代の働き盛りであるが、自分で介護を引き受けるため、介護休暇を取得したり、離職し、本人も疲弊してしまう。本人も大変であるが、企業側も大損失となる。毎年、50歳代前半の団塊ジュニア世代を対象としたキャリアセミナーの講師をやっているが、その時に尋ねてみた。もし、皆様のご両親が介護状態になった時、若しくはなりそうな時にどこに相談に行くか、3割はわかったが、7割はわからないとのことで概ね調査結果と一致し、驚いた。皆さんもそのような機会があれば、地域包括支援センターに行くように繋げてほしい。県の行政相談員の協議会の事務局長になった。事務局通信を出していくつもりなので、そのことも書いて県下に行政相談員200人ぐらいいるが、その皆様にも注意喚起をしていきたい。親孝行の考え方は立派であるが、公的支援を使いながら、自分も携わっていくのがこれからの介護の在り方だと思う。また、介護保険料を天引きされているという意識がない。施設に入所するとお金がかかるから入れたくないと考えている。

3 清水課長あいさつ

- ・皆様には年明け早々、はたちの集いにご協力いただいた。本日、島田警察署の警備課へ行き、事後の反省ということで話をしてきた。多くは駐車場の話であったが、昔と比べて子供たちが大人しくなったという話があった。それを踏まえて、来年度以降も続く行事のため、改善を図りながら続けていく必要がある

る。

- ・今回の会議が足掛け3年に亘ってご審議いただいた公民館の在り方について、最後の協議ということで予定はさせていただく。どんな形でまとめられるか、皆様の意見をお願いしたい。

4 議題

(1) 「島田市における公民館の今後の在り方について」の検討

田代議長進行

- ・これまで皆様にお示ししたものを若干、編集の方法を変えたり、新たに修正した箇所もあるため、事務局に説明を求める。
- ・前回11月の会議後の答申をベースに、まず付け加えたところは20ページ、21ページの朱書き箇所。社会教育主事の存在について、前回の会議で載せていくという話が出たので、そちらに触れている。昨日、正副議長と打ち合わせを行ったが、その段階では社会教育主事がコーディネーター的役割をし、社会教育士も制度化されたまでであったが、昨日の打ち合わせの中でもう一步踏み込んで、教育委員会内に社会教育主事を置いて活躍し、社会教育の活性化につなげるという書き方となった。市の社会教育員会から社会教育主事として発令し、その職務について指導的な役割を果たしてもらう表現とした。(事務局)
- ・全体を通して、事例とエピソードを枠で囲っていた箇所だが、改ページの関係で今回は除いている。昨日の正副議長の打ち合わせの中で事例とエピソードは囲うとなったため、もう一度囲って、わかりやすくする予定。字体は、主張したい箇所は明朝体で、課題はゴシック体、事例は少し変わったゴシック、エピソードは丸ゴシックとした。前回の家庭教育のあり方も参考にしながら、もう一度校正はしていく。(事務局)
- ・11月から1月までの間に、事務局で答申案の精度を上げておくべきであったと反省している。11月の下旬に教育長、部長にも途中経過の報告をしている。それを踏まえ22ページになるが、諮問があつての答申のため、まとめでここを見れば結果がわかるという箇所を設けるべきかと考え、昨日、正副議長には相談させていただいた。委員の皆様が考えてくださった公民館の在り方としては、3ページの「はじめに」にあるため、それを強調するような引用をし、萩原副議長から4(3)の公民館に求められる役割の①②③⑤を達成するために、④⑥⑦のようなことが必要であると、ここで述べたらどうかとアドバイスをいただき考えていたが、まだ骨格のみで表現できていないので、申し訳ない。(事務局)
- ・昨日の正副議長の打ち合わせでは、22ページは既に「はじめに」の中に入っているのだから、敢えて必要ないのではないかとの話をした。
- ・萩原副議長が作成してくださった「はじめに」にまとめは載っているのだから、皆様でなしということであれば、それでいいかと思う。判断し切れずに、中途半端な作り込みになってしまい、申し訳ない。(事務局)
- ・結論を書くのであれば、最後より最初の方がいいのではないか。最初に述べて、あとはご覧くださいではないか。

- ・ 11 ページに言葉は少ないが、課題を受けて公民館の在り方の指針として(1)(2)(3)と書かれているので、これがまとめなのかなど。田代議長が言われたように、その後、細かく見てくださいますと①から⑦まで事例やエピソード付きで載せてあるので、もし、まとめがあった方がいいということであれば、このところをまとめらしくしたらどうか。
- ・ 学術論文などは、サマリーと一番最初に 10 行ぐらいで要約を書く欄がある。その後に論文を書くようなやり方もある。
- ・ まとめを設けると、同じようなことを書くような気がする。それであれば、書く必要はないのでは。
- ・ 「はじめに」の中段が、今回の答申で一番いいたいところであり、22 ページのまとめは削除する。(事務局)
- ・ 参考文献、委員名簿、活動内容、社会教育委員設置条例については、どこまで載せるべきか、検討する。(事務局)
- ・ 最後のまとめをやめて、実質 4 番をまとめとして扱うのであれば、公民館の在り方(指針)とあるので、これをもって提言とするというような断り書きのようなものを 11 ページのタイトルの後の指針の枠組みの前か後に入れておくと、ここが結論だと伝わるかと考えた。(清水課長)
- ・ このままでよいのでは。事例とエピソードは囲うように。
- ・ 事例とエピソードはもう一度囲い、改ページをしながらすっきりさせる。(事務局)
- ・ あとは、内容を変更するものではなく、委員の名簿や審議経過や参考文献、資料をあげるなど体裁を整える作業になるので、正副議長と事務局でまとめあげるということでいいのではないか。できあがったものは、皆様へ送らせてもらおう形でいいのではないか。
- ・ 今の委員の任期中である 4 月末までには答申をしなければいけない。
- ・ 公民館の在り方として、こうするためにこうなさいというのが、明確に文言で出てきた方が、見やすいということであると思う。そのようなところは言っているつもりであるが、例えば地域の防災拠点としての活動も取り入れなさいなど、そこまで強くは言っていない。また、センター化しなさいなどがあるといいなことだろうと考えるが、そこまで委員としては話し合いを進めておらず、ここが結論だとすごく思う。まとめでここまで言葉にするのは、難しいのではないか。私たちが話し合いをしてきたこととは違うことになってしまう可能性もあると感じた。
- ・ 事務局が朱書きで付け足したところは、所轄の垣根を越えた連携をするために、社会教育主事を置いてないが、置いた方がほうがいいですよという内容なので、そういうことを箇条書きなどにした方が、わかりやすいのではということではないかと感じる。
- ・ 課題を最後に列挙するか。ここを公民館として機能していく上での課題として、今後運営していくようにするか。
- ・ 在り方について考えたので、こういう在り方がいいですよと、そのためにはこういうことが必要ではないかとあるのだが、今後はこういう公民館としての在り方が期待されているのではないかとまとめてある。

- ・こういったものは起承転結が基本だと思うが結がぼやけている、全体を読めばいいのだが、そこから読解ができない人もいる、シンプルに最後に結として、書き方を考えましょうというのも結論の一つであろうし、我々の大きなミッションは提言していくことであり、端的な言葉でという考え方も一理あるなど聞いていた。我々の公民館を見つめ直す機会にしてほしいというのも大きな提言であり、社会教育主事を置いてほしいというのも提言だと思うし、もう一度在り方を考えてみてくださいよというのが、最終的に誰に発信するかということにもつながるのだと思うが、公民館に対して発信していくということが中心になってくるのか、であればそのような方がいいのかと少し感じた。でも、しっかり読んでくれればという言い方もできる。
- ・いいことがたくさん書いてあり、せっかく作ったので、有効に使ってほしいというのが一番のポイントかと思う。
- ・公民館の在り方について考えた、それを受けて教育委員会、社会教育課並びに各公民館等でもう一度、これを活用し、新しい公民館の在り方について、考えてもらいたい、変えられるところは変えて、動きを出してもらいたいということや、その中に社会教育主事もある。それぞれの課が連携し、一つの方向に向かっていくように動きを出してほしいなど、そのようなことであれば、この答申を読んだ最後のまとめとして入れてもいいのではないか。
- ・7つある公民館に求められる役割と課題を最後に列挙して、最後に今出た意見をまとめとして加えれば、体裁が整うのではないかと感じた。
- ・4番を見出しの枠をつけるなど、わかりやすく大事な箇所を強調するなど体裁を整える。(事務局)
- ・背景や制度上の目的は文書量が多いが「はじめに」でまずはそこから探ったということで記載があるので、そのままでもいいか。(事務局) 異論なし。
- ・10 ページの検討する方向を1番から入って、背景などを後ろにもっていく方法もある。おかしくはない。
- ・「はじめに」の中に、まずは設立した起源まで遡ってそこから始めたという書き方をしてくれてもあるので、順番的にはこのままでもいいのでは。(事務局)
- ・4番を目立つように修正すればよい。あとは正副議長と事務局に一任願いたい。
- ・字と字が重なっている箇所があるので、フォント数、字体を修正した方がよい。

5 報告

(1) 令和7年はたちの集いについて

事務局より、資料1に沿って令和7年1月12日に開催された「はたちの集い」の出席率、記念品等について説明。当日、出役していただいた委員が気づいた点等について、意見交換を行った。

- ・一部、まとまった空席の箇所があったがなぜか。

- ・中学校区ごとに席を分けているが、出席率が低かった第一中学校区、第二中学校区の箇所であったと推測される。(事務局)
- ・アンケートを取っていると思うが、アトラクションについてどのような意見が出されているか。途中で離席する出席者が多かった。興味が無いのかと感じた。
- ・今年のアンケート結果の確認はまだ済んでいないが、例年、メッセージを発信してくれるため、心に響いたなどの意見はいただいている。アトラクションの際の離席に関しては、休憩時間も挟まれるため、そのタイミングで離席された可能性もある。(清水課長)
- ・受付の位置であるが、来賓が一番左側の奥になる。受付を背にして来賓が一番壁側を通るが、受付従事職員の背中側を通るので、変更した方がいい。
- ・学校で気になる声を聞いた。小学6年生当時の先生方だと思うが、お祝いしたいと当日会場に行ったのだが、子どもたちと話もできずに帰ってきてしまったとのこと。
- ・小学6年生の時に書いた手紙を渡したくて、来場した先生も会えなかった方がいたと聞いた。
- ・来賓の方の中で、出席者と会いたい方が待つような場所があれば、いいのではないか。
- ・学校単位で会うような時間をプログラムの中に設けたらどうか。以前、あったようなサブアリーナでのそのような機会でもなくても、メイン会場で時間を区切って実施してもいいのではないか。
- ・会場撤去の時間の兼ね合いもあったかと思う。(清水課長)
- ・皆様のご意見は担当に伝え、運営の参考にさせていただく。(事務局)

(2) 令和7年度社会教育団体に対する補助金について

社会教育法第13条において、地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付する場合には、あらかじめ、社会教育委員の会議の意見を聴いて行わなければならないとされている。

前回の会議においても青少年係長より、令和7年度の補助事業の概要について説明しているが、今回は財政課査定状況について資料2に沿って報告。

6 その他

(1) 令和6年度社会教育関係者研修会について

月日：令和7年2月21日(金) 13:30~16:00

会場：三島市民会館ゆうゆうホール

出席予定：田代議長、事務局

(2) 島田市社会教育委員改選について

- ・再任について、委員個別に意思確認をさせていただく。
- ・市民公募枠の委員2人については、現在の任期満了後の退任を確認しているため、広報しまだ1月号に募集記事を掲載した。

7 閉会（萩原副議長）

1月3日の朝日新聞に焼津に民営で公民館を作ったと記事があった。29歳の方だが、ドイツで体験していたのが、「この道は私たちの道よ」というような、市民が参画して当事者意識がとてもあるとのこと。公園に椅子を持ち出したりして、皆で集まったりして、「この公園は私たちの公園よ」というような意識がとても強い。そのような体験をした方が焼津の空き店舗を最初に図書館にして、子どもたちが集まる場所にして、それが軌道に乗ってきたので、今度は民営の公民館を作りたいということで、皆が集う場所にしたいと。その方が言うには、日本では市民が公共施設のお客さんになってしまっていると。どうしたら当事者意識が増えるのか。正に私たちが課題としているところだと感じた。やはり、誰かが動く、市民が動くということも大切なのかと感じた。行政に頼むばかりではなく、動いていくということがすごく大切なのではないかということも感じた。